

風のガーデン

緑のクラウンジュエル

風のガーデンは、プリンスグランドリゾート富良野の広大な複合施設の一部であり、2008 年の TV ドラマ「風のガーデン」の主要セットとして作られました。その作られた由来にもかかわらず、風のガーデンは最大限オーガニックで地元らしく見られるように作られています。

上野さんのつながり

北海道ガーデン街道のもう一つの見どころである 上野ファーム [[上野ファームのページにリンク](#)]の上野砂由紀さんによる設計です。上野さんの設計は、英国庭園がベースになっており、フラワーアーチ、木々、ベンチだけではなくドラマで登場人物のセカンドハウスとして使用された家まであります。

オリジナルのバラ

風のガーデンでは、ドラマの役名から名付けられた 2 種類の原種のバラを育てています。これらのバラはローズガーデンで見られます。ローズガーデンは、北海道の野生の草花エリアの隣にあります。この 2 つのエリアは、元々の TV ドラマのセットにはありませんでしたが、自然になじんでいます。

素朴な見た目

ガーデンの片側には小さな囲いがあり、そこではヤギが飼われています。ヤギは歩き回るわけではありませんが、風のガーデンの雰囲気は素朴に見えます。ここは以前ゴルフコースの一部でしたが、今では完全に対照的な場所となりました。コースに元々あって、フェアウェイとグリーンを切り離し、ホールを取り囲んでいた木々は、そのまま残されました。これらの木々がこの場所を他から完全に隔離し、自然のオアシスを形作っています。ガーデンのもう片側には小さな池があり、何百匹ものトンボがその上を飛び交っています。

学校からガーデンへ

風のガーデンシリーズは倉本聰が原作を書きました。ドラマがヒットした後、彼はこの地に「富良野塾」という、脚本家と役者のためのドラマスクールを設立しました。このスクールに通った生徒のうち 2 名は、プロの庭師になろうと思っていたわけではなかったのに、ここで庭師長を務めています。チューリップ、ルピナス、ダンゴギク、スノードロップ、フロックスなどを含む 450 種類の花がたくさん栽培されています。

どうやって、そしていつ訪問するか

来園者には全員、ホテルとガーデン間の送迎が付くため、風のガーデンからは他のプリンスリゾート施設やアクティビティへのアクセスも楽にできます。熱気球体験フライト、セグウェイで丘を越える

ツアー、ニングルテラスでのショッピングや食事オプションなどのアクティビティがあります。どうやらこのエリアには「ニングル」と呼ばれる小妖精が住んでおり、夜になるとこのリゾートやガーデンを片付けるために出てくるようです。

風のガーデンは 4 月下旬から 10 月中旬にかけて、朝から夕方までの営業となっています。風のガーデンで体験できる内容は、このリンク[\[体験内容ページにリンク\]](#)から確認できます。